

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	多摩区第1グループ(枅形・長尾)	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	多摩区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 枅形こども文化センター ①年間延べ利用者数 21,550人 ②年間延べ利用団体数 810団体</p> <p>2 東生田小学校わくわくプラザ ①登録者数 235人 ②年間延べ利用者数 12,964人</p> <p>1 長尾こども文化センター ①年間延べ利用者数 25,347人 ②年間延べ利用団体数 697団体</p> <p>2 稲田小学校わくわくプラザ ①登録者数 376人 ②年間延べ利用者数 23,399人</p> <p>3 長尾小学校わくわくプラザ ①登録者数 115人 ②年間延べ利用者数 6,589人</p>
収支実績	<p style="text-align: right;">単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 94,759,314</p> <p>2 支出 人件費 76,906,602 事務費 6,706,394 事業費 6,114,583 その他経費 94,340 (合計) 89,821,919</p> <p>3 差引 4,937,395</p>
サービス向上の取組	豊かな人間性・社会性を育むために、利用者が安全・安心かつ楽しく過ごせる場所を確保し、行事の企画に利用者のアンケート結果を反映させる等利用者の目線に立ったサービス向上を図っている。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
<p>(評価の理由) 第1グループの合同行事は「ホテルの国de夜のおさんぽ」、「青少年の家キッズキャンプ2013」を開催しこども同士の交流を深めた。枅形こども文化センターでは「子猫の手タイム」を親子のスキンシップを図る目的で開催した結果、行事参加者が15%、全体利用者が40%増加した。長尾こども文化センターの「1・2・3才の子集まれ」では、延べ100人を超えるボランティアの協力を得て開催することができた。稲田・長尾小わくわくプラザでは「こどもキッズ会議」等の年間参加者は600人を超えていた。これらから、概ね事業計画に基づく事業成果を達成できた。</p>					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費縮減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
<p>(評価の理由) 会計処理及び金銭管理について適切に処理されている。また、消耗品や備品購入などを精査し、最小限に抑えるなど、経費縮減に取り組んでいる。</p>					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	子ども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	3	6
<p>(評価の理由) 利用者の目線に立ってサービスの向上を図るため、子ども文化センターでは毎月の「子ども会議」の開催や、個人や団体利用者とのコミュニケーションを積極的に取組んだ。わくわくプラザでは年3回の「保護者懇談会」の開催や、子どもの送迎時に保護者に積極的に声かけを行い信頼関係の構築に努め、子どもの様子や行事予定等について情報提供するとともに行事への参加や協力を得ることができた。行事場所は、生田緑地、せせらぎ館等地域の特色や季節感を感じられる場所を選定した。これらの事実から、概ねサービス向上及び業務改善は図られていると評価した。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		子ども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) 子ども文化センターでは、職員2名で対応したほか、緊急時等に対して柔軟な対応を確保することができた。わくわくプラザでは、職員4名で対応し、利用児童数が20名増加ごとにスタッフ1名を増員を図った。職員のスキルアップを図るため外部機関等と連携した研修を実施し、児童厚生一級及び二級の資格取得に繋げた。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	4	4
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 開館前の点検等により施設維持に努めた。衛生管理については川崎市の指導等に基づき、消毒等所要の措置を講じている。また、第1グループ全職員を対象に研修を実施し、多摩区役所衛生課職員を講師に迎え衛生管理の意識向上と、嘔吐物の処理方法を学習した。防災体制については「防災時対応マニュアル」に基づいた緊急時の対応体制等の構築を図っている。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	66	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理者(公益財団法人かわさき市民活動センター)のスケールメリットを活かした人員配置、経費削減、また、公益財団法人としての収支相償の会計原則の厳守による剰余金での環境整備など、運営面においては安定的な執行がなされている。

また、各館が培ってきた地域住民や関係機関との連携も非常に良好で、今後も地域一体となった運営が期待できる。

さらに、利用者の安全や災害時の対応に配慮した備えを常に準備しており、適正な業務を遂行している。

第1グループでは、地域ボランティアの活躍の場面が多くあり、また、子ども文化センターでは公園のゴミ拾いや草むしりなど地域の中の施設として信頼を得よう努めており、良い連携が図られている。中学生の利用拡大を大幅に図るなど、事業や広報にも工夫が見られる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

わくわくプラザにおいては、利用人員の増加など環境が厳しい施設もあるため、安全等に十分配慮した運営を心がけること。

また、引き続き、利用者のニーズ等に応じて、サービス向上に努めるなど楽しさや信頼感あふれる運営を図るよう要請する。